

聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和6年11月4日(月)10時00分～12時00分	会場	すずらん台市民センター
相手方名	すずらん台町づくり協議会	参加人数	26 人
出席議員	幸松孝太郎 常俊朋子 阪本忠幸 柏元三 藤川美広		
	質問・意見	懇談会等での返答	対応
1	<u>1. すずらん台の下水道の公共移管について</u> ・公共移管の状況は一向に進んでいない ・市の財政、国の予算が削られるなどの理由で進まないと思う ・浄水場の移管は、老朽化で修理が必要	・他の地域でも遅れがでている ・本管に繋ぐのではなく、コミュニティプラントに接続する案も出ている ・地域と市の話し合いが大事であり、委員会を立ち上げていただくことが大切である	■行政側に伝える
2	・住民が一致団結する必要がある、自治会でも専門の委員会を立ち上げた ・年内には役員を選出して大倉、近畿環境、まちづくりと市を含めた4者で交渉し、住民の合意を取り付けたいと考えている	・所有権は民間であるが、自治会が一部所有するなど様々なケースがあり、市が移管を受けるに納得する状態を作っていただきたい	■当日の返答どおり
3	・災害時の影響が懸念されるため、早急に対応してほしい ・不明水の発生で、処理場からあふれていると思われる ・異常気象などで、豪雨の際の雨水の混入が気がかりである ・全国的なものであるので、国がしっかり予算をつけて対応できるようにしてほしい	・ご意見を聞かせていただいたので、市にはすずらん台の下水道についてやマスタープランの進め方を含め、早期に説明会を計画するよう伝える	■行政側に伝える
4	<u>2. 公共交通コミュニティバスについて</u> ・暮らしの不安があり、ナッキー号をすずらん台にも走らせてほしい ・すずらん台はお店がなく、ドアtoドアの車は、6名しか乗れない ・すずらん台の状況としては、買い物難民が増えているので、ナッキー号が活きてくると考える ・すずらん台では、三重交通の走っていない外周を回っていただくなど考えてほしい ・皆さんが考えておられる以上に重要な問題であると認識していただき、知恵を貸していただきたい	・地域環境部・福祉部子ども部・都市整備部の三つの部門で考えるべきことであると考えている	■当日の返答どおり ■委員会で対応中

	質問・意見	懇談会等での返答	対応
5	・バスの通学補助金が約3万円出ているが、半額補助であり、3人子どもがいると年間9万円の実費負担となる ・すずらん台は自転車通学が認められていないのに、北中へ行くための通学バスに費用がかかるのはおかしくないか ・子育て世代が、すずらん台を移住場所を選んでくれるのかを考えてほしい	・北中学校への通学費に関して、すずらん台への支援など考えるべき課題をいただいた ・コミュニティバスの連携についても提案していく	■当日の返答どおり ■行政側に伝える
6	3. 市立病院について ・地方独立行政法人に変わることが本当に良いのか ・やっと借金がなくなる時に地方独立行政法人化することがなぜ良いのかわからない ・地方独立行政法人への移行に関する資料はあるのか	・病院の財政に関しては、複数の議員が質問しており、議会でも問題点を検証している ・市民の皆さんの命を守る仕組みづくりをメリットの面からとらえていく ・地方独立行政法人になっても市が補助金を出す ・地方独立行政法人への移行に関する資料は、ホームページでも公開されている	■当日の返答どおり
7	・地方独立行政法人は病院経営のプロだが、経営を重視しながらでも採算が取れない部門を維持できるのか	・名張市立病院は不採算部門を抱えているが、いずれも重要な事業であるため、今後も市が財政的な支援をしながらこれまで通り継続していく ・伊賀地域での機能分担や仕組みづくりも考えていかなければならない ・今後も病院に関する議論は継続して行う	■当日の返答どおり
8	・中期目標では「検討しなさい」であったが、市内の産婦人科で分娩がなくなると聞いている ・里帰り出産ができないことは、人口減少に拍車をかけると考える	・産科、分娩に関しては、市もしっかり進めると言っているが、現在は経過途中である ・議会においても議論が必要であると考えている	■当日の返答どおり
9	4. その他 ・市長に手紙を出しても返事が来ない、議員はそのことを知っているのか	・市長宛に出された手紙の内容は議員に伝わらない ・議員の周知が必要な場合は、市長と議会の両方に提出していただければ共有できる ・いただいたご意見(返事が無い)は市に伝える	■当日の返答どおり ■行政側に伝える